

8月のコラム

みなさま、こんにちは。

新しい元号になり、山県市マリッジサポートセンターに嬉しい報告が増えてきました。今回は、親さんの勧めで婚活を始めた男性登録者様からの結婚報告をさせていただきます。

30代後半の彼は、約2年前に山県市マリッジサポートセンターが主催した婚活イベントに参加されました。参加のきっかけは、広報誌で婚活について知ったお母さまの勧めだそうです。

このイベントでの出会いはなかったですが、これをきっかけとして山県市マリッジサポートセンターに登録され、1対1のお見合いを行っていくことになりました。山県市は岐阜県の広域ネットワークに加入していますので、県内のネットワーク加入の相談者のプロフィールや写真を見ることができます。お見合いは、相談者がそこで選んだお互いの条件に合う人に申込みをし、申込み相手からOKが出て初めて実施されます。

彼は積極的にお見合い申込みをしましたが、断られ続けること十数回。そのたびに落ち込みました。しかし、彼は婚活をあきらめず、まずは女性に選ばれる見た目になろうと努力しました。それまでは、服装やヘアスタイルや眉の形などを特に気にすることもなく、女性から選ばれやすい印象とはいえませんでした。そこで、相談員から見た目についてのアドバイスを受けたことをもとに、プロの力も借りて勇気を出して大変身。女性からの印象が良くなるような見た目になりました。その結果、お見合い申込みをした相手からOKをもらう確立が高くなりました。そして自信が付き、以前よりもうまく女性とコミュニケーションをとることができるようになりました。

彼が運命の女性と出会ったのは、昨年10月半ば。その女性は30代前半のすてきな女性でした。彼はお見合いでの第一印象で彼女のことをすぐに好きになったそうです。彼女は彼の第一印象は「普通かな」という程度でしたが、「今思えば普通が良かった」と話してくださいました。彼女も婚活イベント等の出会いの場には出かけていたものの、本気の相手に会えず何とかしなくてはと少し焦り気味だったとか。お二人はお見合いから交際へと進みました。お互いのんびりな性格であることと、休みの日が合わないことで、なかなか会えませんでした。1日1回の取り留めのないメールは必ずしていたそうです。お二人ともお互いをよく思いやる人柄に、安心と信頼感を募らせていきました。翌年の1月には結婚しようとはなんとなく決めて、春にはご両親に正式に紹介。7月に山県市に入籍をされ、穏やかな愛を育んできた素敵なお夫婦が誕生しました。「二人での暮らしが始まって幸せを感じる時ってどんな時？」とお尋ねしたら、彼は「そばに誰かがいてくれること。彼女を見ていて新しい発見ができること」、彼女は「何年も一人暮らしでしたから、一人じゃないって感じる時や、家で一緒にご飯を食べているとき」と答えてくれました。ニコニコと顔を見合わせて二人が語る姿は、安らぎを感じていることがよく伝わってきました。

お二人とも、誰かがそばにいるという安心感も婚活からの結婚をとおして得られました。

婚活は、ずっとそばにいてくれる相手、安心できる相手を見つけることができる方法だと思います。みなさんの周りに結婚したいと願っている独身の方はいませんか。もし、いらっしゃれば、山口市マリッジサポートセンターを紹介してください。独身の方がいる親さんやご家族のみなさまからの相談もときどきあります。独身者ご本人様でないと登録はできませんが、相談は受け付けますので、お気軽にご来所ください。私たちは一人ひとりに寄り添って婚活応援させていただきます。